



【事例】日鉄高炉セメント(株)

同社は、製鉄事業で副生される「高炉水砕スラグ」を主原料とする環境にやさしいセメント「高炉セメント」を生産しています。

「高炉セメント」は、広く一般的に利用されるポルトランドセメントに比べると、製造過程で発生する CO₂ の削減効果が高く、耐久性の高いコンクリート構造物を作り出すことができ、同製品の製造・普及を通じて、省資源・省エネルギー・CO₂ 排出量抑制に貢献しています。

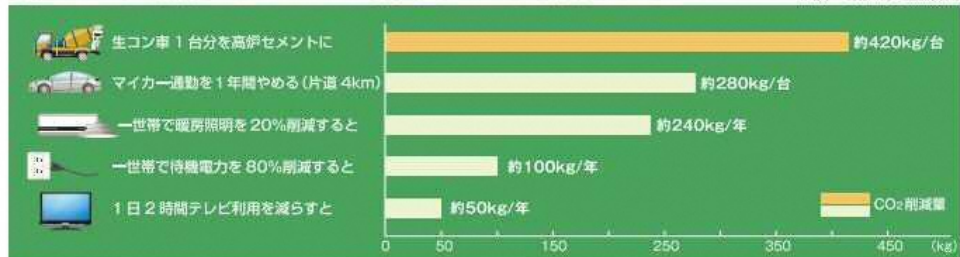
高炉セメントの CO₂ 削減効果等

高炉セメントは高炉スラグが入ることで、省資源、省エネルギー、自然環境の保護、地球温暖化防止に貢献しています。



高炉セメントを使用することでCO₂の排出量がこんなに削減できます

(出典：鉄鋼スラグ協会資料)



高炉セメント
使用促進施策

国や地方公共団体なども利用拡大を促進しています。

- 「グリーン購入法」の特定調達品目として公共事業で高炉セメントが指定されています。
- 「CASBEE (建築環境総合評価システム)」等において高炉セメントの使用が推奨されています。

出典：日鉄高炉セメント(株)ヒアリング及び同社ウェブページより



【事例】三菱ケミカル(株)

三菱ケミカル(株)の持株会社である(株)三菱ケミカルホールディングスは、社会の潮流や技術進化の動向を見据えて、2050年のめざすべき社会とグループのありたい姿を想定し、そこからバックキャストして2030年のあるべき企業像と成長の道筋を明確にした中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30(KV30)」を策定しています。

KV30の中で、GHG排出規制やプラスチック循環など事業領域に影響を与える各種規制の動向を勘案しながら、2050年までを見据えた上で現在から2030年までの市場トレンド、技術進化の動向を分析し、ポートフォリオの柱となる「成長事業群」を選定し、事業拡大に取り組んでいます。

また、同社では、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主導する“人工光合成プロジェクト”に取り組んでおり、2030年までに大規模実証を、2040年までに人工光合成を活用した炭素循環システムの社会実装を目指しています。

2030年までのポートフォリオの柱となる「成長事業群」



人工光合成デモンストレーション



出典: 三菱ケミカル(株)ヒアリング及び三菱ケミカルホールディングスウェブページより



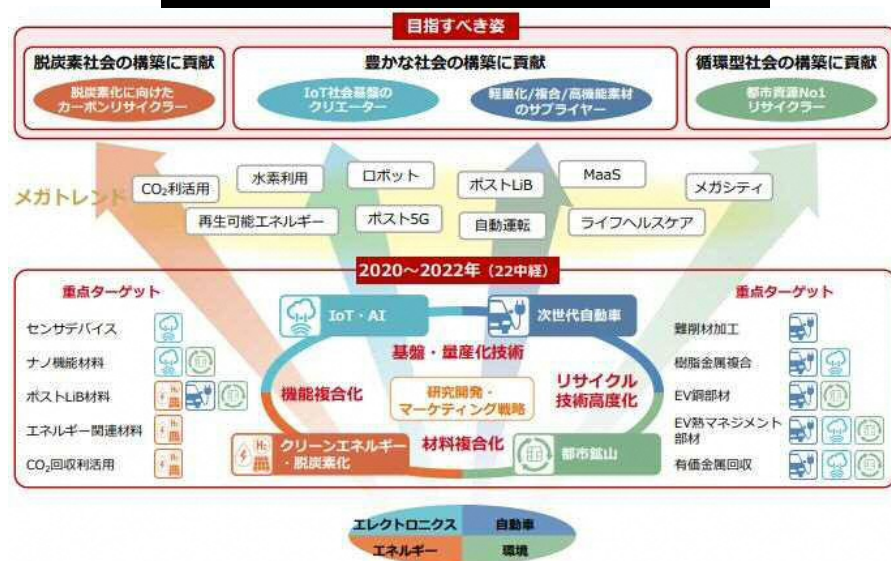
【事例】三菱マテリアルグループ

同社グループでは、製造プロセスの改善や材料・部品の環境負荷低減に力を入れており、セメント工場での熱エネルギー由来の CO₂を更に削減するため、コンピュータ解析技術により運転条件を最適化しています。

また、廃プラスチックやシュレッターダスト等による化石燃料代替技術や、製錬プロセスでのリサイクル原料の利用、都市鉱山からのレアメタル回収を行っています。

さらに、一般社団法人日本経済団体連合会が策定した「チャレンジ・ゼロ」に参画し、脱炭素社会の構築に貢献する同社の技術、製品、サービス等を国内外に発信しています。

開発戦略(中期経営戦略(22 中経))



出典：三菱マテリアル(株)ヒアリング及び同社ウェブページより



【事例】株安川電機

中期経営計画「Challenge 25」目標の一つとして、製品を通じた環境負荷低減（グリーンプロダクツ）、同社グループの事業活動による環境負荷の低減（グリーンプロセス）の両面から価値を創造するとして、グリーンプロダクツによる CO₂ 排出削減貢献量 4,000 万 t 以上（2016 年度以降の累積）を目指すとしています。

2019 年度実績では、同社製品による CO₂ 排出削減貢献量は 2,185 万 t（2016 年度以降累積）であり、同社ホームページにて、毎日、販売された同社製品の CO₂ 削減貢献量と換算される緑化面積を映像で可視化しています。

グリーンプロダクツ



主なスーパーグリーンプロダクツ認定製品(2019 年度)

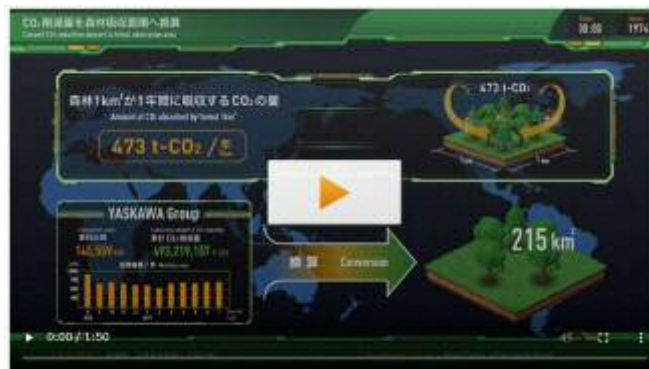
安川インバータ
GA500



V1000後継の世界最小クラスの高機能インバータ

- ・モータの消費電力を監視し、常にエネルギー効率を最大化
- ・革新的なPMモータ制御
- ・クラウド対応でメンテナンス性向上
- ・RoHS指令、REACH規則対応

製品を通じた CO₂ 削減貢献量のウェブページ



出典：株安川電機ヒアリング及び同社ウェブページより